

私は普段から料理をするのが好きで、また日頃からテレビで料理番組を見るのが楽しみだったり、大学も栄養学科なので私の生活は大部分が料理を含め「食」で成り立っているといっても過言ではありません。今回第3回クッキングサミットにおいて、一次審査で私の作品が採択され、憧れでもあった二次審査に出場することができとても有意義な経験をさせていただきました。

今回テーマが「大切な人に作ってあげたい食事」ということで私は父親に作ってあげたい食事を考えました。この作品を考えると一番はじめに思い浮かんだのが、仕事で夜遅くに疲れて帰ってきた父親が幸せそうによく冷えたビールを飲んでいる姿でした。普段なかなか言葉で感謝の気持ちを伝えることができないのですが、その分感謝の気持ちといつまでも元気でいてほしいという気持ちを込めて、父親が大好きなビールを飲みながらでもさっぱりと食べられる健康的な食事を考え作り出しました。

そして、二次審査の結果私は「教育後援会賞」を頂きました。自分が作った料理が多くの人に食べてもらえまた、このような賞を頂けるような評価をして頂いたことはとても光栄なことであり、料理が好きな私にとって大きな自信に繋がりました。

大会当日、他の出場者の調理風景を見たり、試食をしたりした中でたくさんのアイデアやその作品に込められた思いなどにより刺激をたくさん受けました。この時つくづく料理の可能性は無限大だと感じました。この大会は順位を争うような競争ではなく、自分の作品を自信をもって発表する場であり、私はこの作品で自分の得意分野を生かして個性が出せたことにとても満足しています。また、私が賞を頂いたのは、ロイヤルホストさんのスタッフの方たちに調理を手伝っていただいたり、調理法などプロのアドバイスをもらえたおかげだと思います。本当にロイヤルホストさんの皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。

クッキングサミットは農大生だからこそできたことで、更に賞まで頂いたことは本当に一生物の貴重な経験となりました。この経験を生かして、これからもより一層料理の世界を広げていきたいと思っています。

クッキングサミットに参加して本当に素晴らしい思い出ができました。
ありがとうございました。

栄養学科2年 森下 貴望江